

鹿屋市国際交流協会だより

かのやし
こくさいこうりゅう
きょうかいだより

かのやしこくさいこうりゅうきょうかいは
鹿屋市国際交流協会

(KIEA : Kanoya International Exchange Association)



KIEA(キア)は、市民・民間団体・行政が協力して活動する国際交流団体です。平成8年に発足しました。外国文化の紹介や、地域での国際交流イベントなどを開催しています。

会長あいさつ

残暑厳し折、市民の皆様におかれましては、かねてより当協会の活動に対するご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。また、本誌を通して協会の活動内容についてご報告できますことを大変喜ばしく思います。

年度前半の主な活動として、第31回鹿児島県青少年国際協力体験事業に鹿屋市内在住の中学生2名を選定しカンボジアに派遣いたしました。選ばれたお二人は貴重な体験をされた様子でした。また、鹿屋市夏祭り(総踊り)に協会として参加しました。踊りの練習や山車の制作に多くの会員の皆さんが参加協力してくださいました。さらに隔週で開催しています「みんなの異文化交流ひろば」にも多くの方が参加くださり、

異文化に対する理解を深められているようです。

年度の後半にもいくつかのイベントを企画しておりますので、会員の皆様に限らず多くの皆様に参加していただければ幸いに存じます。

今後ともこれまでと同様、少しでも会員の皆様に喜んでもらえますよう、地道に活動を続けてまいりたいと存じますので、ご指導、ご助言を賜りますよう、また協会の活動に積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。

かのやしこくさいこうりゅうきょうかいは
鹿屋市国際交流協会 会長 **坂元 浩幸**

鹿児島県青少年国際協力体験事業

「世界へ飛び出せ! Study tour in カンボジア」

国際性豊かな人材の育成を図ることを目的として実施された本事業に、鹿屋市国際交流協会からの推薦により、尚志館高校(3年生)の山口寧々さんと鹿屋東中学校(2年生)の今村莉亜那さんが派遣されました。

派遣帰国報告

●どのようなことが最も印象に残っていますか?

山口さん カンボジアのみなさんの想像を超えるおもてなしがとても印象に残っています。村の人たちは言語も文化も違う日本から来た私たちのことを村全体で歓迎してくれました。中学校訪問では生徒の皆さんが正門に並んで出迎えてくれました。その手には1人1人個ずつブーケを準備していて、私達に手渡してくれました。相手のことを想った心温まるおもてなしがとても嬉しかったです。



山口 寧々さん

今村さん ホームステイが一番印象に残っています。いつでも笑顔のホストマザーやどこに行くにもついてくるホストシスター、一緒にご飯を食べたり遊んだりした近所の子供たちなどたくさんの人と関わることができました。みんな親切で、とても温かかったです。4日間が本当にあっという間で、言語の違いがとても小さなものに思えるくらい楽しかったです。



今村 莉亜那さん

7月21日(日)	結団式 - 鹿児島空港 出発 - (韓国)仁川国際空港 - (カンボジア)プノンペン国際空港到着	ホテル泊
7月22日(月)	AM JICA(国際協力機構)現地事務所訪問 PM ホストファミリーと合流	シエムリアップでホームステイ(泊3日)
7月23日(火)	AM 青年海外協力隊 井上隊員の活動を視察 PM ホストファミリーと過ごす	ホームステイ(泊4日)
7月24日(水)	AM 青年海外協力隊 若山隊員の活動を視察 PM アンコールワット見学	ホームステイ(泊4日)
7月25日(木)	終日 ホストファミリーと過ごす	ホテル泊
7月26日(金)	AM 現地中学校を訪問、交流 PM ホストファミリーとのお別れ	ホテル泊
7月27日(土)	終日 プノンペン視察 独立記念塔、トゥールスレン虐殺博物館など (カンボジア)プノンペン国際空港出発	機内泊
7月28日(日)	(韓国)仁川国際空港 - 鹿児島空港到着 - 解団式	

かのやしこくさいこうりゅうきょうかいは
鹿屋市国際交流協会のイベント情報などをお届けしています!
LINE公式アカウント LINEアプリの「友だち追加」から登録してください。



ほうほう 方法① 左の二次元コードを撮影
ほうほう 方法② ID検索 @478disiv

とちまち
お友達になっ
てください!

● ホームステイ中は、どのようにして過ごしましたか？

山口さん 日本語とクメール語を教え合ったり、ホストファミリーの手伝いをしてすごしました。

食事の際は味付けが私に合うか調節してくれたり、美味しいと言った食べ物をもう一度出してくれたりとても気遣ってくれました。私は浴衣を持って行っていたのでホストファミリーに着付けてあげるととても喜んでくれました。お礼にと、私にもカンボジアの民族衣装を着せてくれたり文化交流をすることができました。

私と同世代の村の子供たちとも、お互いの国の歴史や文化などを本やスマートフォンを使って教え合い交流を深めることができました。帰国した今も、電話などで交流を続けています。

今村さん ホストシスターや近所の子供たちと一緒に散歩に行ったり、歌ったり、お互いの国の言語を教えあったりすることが多かったです。言葉が通じなくても心が通じ合っているような感じで、仲良くなるのに言葉はいらないくらいでした。

● 派遣中、困難なことや苦勞したことがあれば教えてください。

山口さん 私のホストファミリーは、クメール語の読み書きができなかったため事前に用意していた本などを使うことができなくて初日はどうやってコミュニケーションを取ればいいのか困りました。

今村さん 虫が多くてタランチュラと日々格闘しないといけない状況になったことです！ホストファミリーが笑顔で虫を食卓に出したこともありました。タランチュラはエビフライの尻尾のような味でした。(笑)

● JICA 海外協力隊員の活動視察を通じて、どのようなことを感じ、学びましたか？

【視察先】

隊員	井上 大貴 隊員 (シェムリアップ州モック・ニア小学校／小学校教育)
活動内容	担任教員とともに、算数授業を行い、基礎学力向上を目指す。また、授業の質の向上のために、教員への指導や、新しい指導方法の紹介等を行う。

隊員	古山 徳春 隊員 (シェムリアップ州公共事業運輸局・公共工事部技術課／土木)
活動内容	交通量調査や交通規制などの策定の指導、道路プロジェクトの業務の支援、効果的・効率的な地図作成に関するアドバイス等を行う。

山口さん カンボジアの教育の現状は、日本と違って音楽や道徳がなく、音楽は導入予定であ

ること、学習道具についても教科書や筆記用具が購入できない家庭もあり、経済格差があることから、学習能力に差が出てしまうことなどを学ぶことができました。

労働環境については、女性が産後直ぐに職場復帰することが当たり前な環境であることを知り驚きました。カンボジアでは、先生が子供を連れて学校に行くことが当たり前であり実際に学校内でベビーカーを押す先生と会うことができました。職場でも子育てがしやすい環境は日本が見習うべき点だと思います。



今村さん 「助けてあげる」みたいなのは何もなくて、「日本とやっていることは同じで、働く場所が違うだけ」という井上隊員の話聞いて、自分の考えが上から目線だったことに気付かされました。

また、カンボジアの排水問題について知らなかったのですが、雨季と乾季のバランスや、現地の状況によって解決が難しいそうです。古山隊員の話聞くまで現地の環境について全然考えたことがなかったのですが、海外を見る視点が増えました。



● 今回の体験を今後どのように活かしていきたいですか？

山口さん カンボジア派遣を終えて、将来は世界で活躍できる看護師になりたいと考えています。

現地で働く JICA 隊員の活動視察を通して、海外で働くことの魅力はもちろん、先進国が教える、技術を伝えるなどの一方通行ではなく、発展途上国からも、学ぶことや見習うところがあるということを知ることができました。お互いの国の良さを活かす国際協力ができる看護師になりたいと思います。

今村さん これから、私が今回参加した事業に参加したい人、参加してみたいけど勇気が出ない人の背中を一押しできるように、学校をはじめとしたたくさんの人に私が体験したことを話していきたいです。海外に行くのはとても勇気が入りますが、思い切ってぜひ皆行ってほしいです！海外でたくさんの方のことを学んだ自分は行く前より一回り二回り輝きます！！



★次回の鹿児島県青少年国際協力体験事業は、令和7年春ごろに募集を行う見込みです。鹿屋市国際交流協会HPや公式LINEで情報を逃さずGETしよう！

グローバルの輪

鹿屋に暮らす外国人の紹介



■名前: Trey Goodin
(がいにくごしどうじょうしゅ)
 (外国語指導助手 (ALT))
 ■出身: アメリカ合衆国
(がっしゅうこく)
 マサチューセッツ州 ノーサンプトン



● 故郷について教えてください。

マサチューセッツ州西部に位置し、ボストンから車で約2時間のところにあります。人口は3万人ほどで、厳密には都市ですが、都市というよりは小さな町に近いです。ノーサンプトンには盛んなアート・コミュニティがあるので、アートの展示やイベントがよく行われています。この町にはいくつかの大学があるので、コミュニティは多様性に富んでいて、若者も多いです。住むにはとてもいい場所だと思います。

● 日本に来た理由を教えてください。

私が日本を好きになったのは、大学2年生のときでした。歴史を勉強していた私は、日本史について何も知らないまま、気まぐれで前近代の日本史を受講しました。それは、それまで勉強してきたこととはまったく違うものでした!アメリカの高校では通常、日本のことはまったく勉強しません。私は、自分が学んでいる歴史や文化がとても興味深いと思ったので、日本史の勉強を続けることに決め、日本語と日本文化のクラスも取り始めました。それ以来、日本に来たいと思うようになりました。こうして日本に来る機会を得て、教師としても働けることに感謝しています。

● どこで、どんな仕事をしていますか?

私は2つの学校で働いています。鹿屋農業高校と串良商業高校です。私は外国語指導助手(ALT)です。私の仕事は主に、両校で英語の授業をアシストすることです。ほとんど毎日、各学校で英語の先生と一緒に4クラスほど教えています。授業はそれぞれ違いますが、授業の計画を先生と相談し、一緒に授業をすることが多いです。授業以外では、生徒たちに英語を学ぶことへの興味と意欲を持たせ、ネイティブ・スピーカーと自然で本格的な英語でのコミュニケーションの機会を与えることが私の主な仕事です。

● あなたの学校の良いところを3つ教えてください。

私はどちらの学校も大好きなので、3つだけ選ぶのは難しい!でも3つ挙げるとすれば、まずは学校のコミュニティです。生徒もスタッフも素晴らしく歓迎し、フレンドリーです。初めて来たときは、文化も環境も違いすぎて、少し緊張しました。しかし、私の日本語はまだかなり下手ですが、みんなとても親切にしてくれました。2つ目は、農業高校で働くのがとても楽しいということです。私はアメリカの農場で育ったので、この学校のいろいろな面が身近に感じられます。特に、学校で新鮮な野菜や卵を手に入れられることが気に入っています。3つ目は、両校の英語の先生です。日本に来た外国人として、このような協力的で親切な人たちがいてくれたことは、非常に助かりました。家や車の準備など、必要なものをすべて揃えてくれましたし、助けが必要なときや質問

があるときは、いつでも快くサポートしてくれます。彼らに大変感謝しています。

● 生徒について教えてください!

私の生徒たちは素晴らしいです。英語を学ぶのはとても難しいことですが、彼らはベストを尽くし、クラスの中でも外でも、とてもうまくコミュニケーションをとることができます。クラスにはいつも活気があり、教えることができるのは嬉しいことです。

● 鹿屋の好きなところを3つ教えてください。

鹿屋には好きなところがたくさんあります。一番好きなのは、素晴らしい自然がたくさんあるところかな。私はハイキングや自然がとても好きなので、気軽にいろいろな場所に行けるのが気に入っています。また、鹿屋はあまり都会的な感じがしないのに、大都市の便利さがたくさんあるところも気に入っています。3つ目は、鹿屋の人たちがとても親切だということです。私は日本語があまり上手ではありませんが、皆さんが私とコミュニケーションを取ろうと努力してくれますし、間違いを理解してくれます。

● アメリカで恋しいものは何ですか?

友人や家族以外では、アメリカで唯一恋しいと思うのは、いろいろな食べ物が簡単に手に入ることです。小さな都市でも、世界各地の食べ物があります。私はいろいろな外国の食べ物を食べるのが好きなのですが、日本ではアメリカよりも見つけにくい食べ物もあります。日本食は素晴らしいけれど、アメリカのようなバラエティに富んだ食べ物が恋しいです。特に、メキシコ料理やギリシャ料理はアメリカではよく食べられますが、日本ではあまり食べられません。

● アメリカ旅行でおすすめの観光スポットを3つ教えてください!

アメリカは広大で、見るべきものがたくさんあります。私が育ったのは北東部なので、少し北東部に偏っていますが、私の一番のお勧めはナイアガラの滝です。実際に見ると本当に信じられない光景です! 2つ目はニューヨーク市です。ニューヨーク市には訪れる価値のある様々な場所がたくさんあります。3つ目はマサチューセッツ州のケープコッドでしょうか。そこのビーチと海はとても素敵で、私のお気に入りのバケーションスポットのひとつです。ケープコッドは他の2つよりも人気がありませんが、一見の価値があります。



● 鹿屋の皆さんにメッセージをお願いします。

鹿屋に来る機会を得て、この素晴らしい街を体験できたことをとても嬉しく思います!

かのや夏祭り「総踊り」に参加しました!!

2024年8月3日(土)、鹿屋の夏の風物詩である「かのや夏祭り総踊り」が開催され、鹿屋市国際交流協会は、2019年以来5年ぶりに参加しました。伝統衣装を着て参加した在日フィリピン人鹿屋協会の皆さんを中心に、鹿屋市役所からゴールの城山公園まで、全員が暑さを吹き飛ばす笑顔で楽しく踊りました。



参加者の声
帖佐 シエラさん

夏祭りでは、様々な人と出会うことができ、とても楽しかったです。夏祭りが開催される前に、3回のダンスの練習を行い、その後は2晩かけて山車の飾り付けをしました。当日は、2歳~5歳の子供たちも一生懸命踊って私たちについてきてくれたので嬉しかったです。踊っている時に、来場者の皆様が私たちの小さな子供たちを見て喜んでいることもわかりました。異なる国の異なる服を着た私たちを見て、「服が美しい」「素晴らしいかった」とお客様から言ってもらえて、さらに嬉しかったです。夏祭りに参加して、異なる文化を知ることができました。



スタッフ大募集!!

会員またはボランティアスタッフとして、活動に参加してみませんか？活動の様子やイベントの情報は、当協会のホームページや公式LINE、Facebookで発信しています。ご興味ある方は、お気軽にお問い合わせください。

イベント情報などをお届けしています!



ホームページ



公式LINE



Facebook

今後のイベント予定

11月10日(日) 第6回外国人日本語スピーチコンテスト

12月8日(日) クリスマスお菓子の家づくり

1月(日程未定) 新年交流会

— みんなの異文化交流ひろば(鹿屋市との共催事業) —

10月8日(火)、10月22日(火)、11月12日(火)、11月19日(火)、12月3日(火)、12月17日(火)